

平成 24 年度 事業計画

I 基本方針 — いつまでも元気で歩くために —

公益財団法人 日本股関節研究振興財団は、股関節に関する研究、診断治療技術の開発及び運動器の健康寿命を延伸するための研究を奨励して参りました。

人間は沢山の関節を持ち、これを意識的にあるいは、無意識に駆使しながら生活しています。この沢山の関節の中で最も大きく、また、複雑な運動をしているのが股関節であります。そのため、股関節疾患には、発育性股関節脱臼、変形性股関節症、ペルテス病、大腿骨頸部骨折、股関節の脱臼骨折など、いずれも簡単に治療できないような難病がその名を連ねています。

今後とも当財団は、股関節で悩んでおられる多くの人々のために活動を展開いたします。

一方、日本は世界一の長寿国となりました。しかし必ずしも全ての人が元気なまま、長寿を全うするわけではありません。統計によれば、平均寿命から心身ともに自立した生活を送ることが出来るいわゆる健康寿命を差し引いた期間は 6~8 年にもおよび、この期間は、病気で入院したり、寝たきりや介護を受けていることとなります。このような介護状態を減らし、いつまでも元気に歩くために、特に人間の歩行に重大な機能を担っている股関節をケアすることが重要となっております。

これに関連し、近年、国の「新健康フロンティア戦略」及び「健康日本 21」の事業が推進されており、また、公益社団法人 日本整形外科学会が提唱する「ロコモティブシンドローム」という新しい概念も誕生しました。

我が国が超高齢社会となっている現在、当財団も新たな転換点を迎え、平成 23 年 12 月に公益財団法人となり、その役割は、さらに大きなものとなりつつあると考えております。

今後、当財団は、股関節の不安を取り除くための「股関節の学術研究の奨励と股関節に関する普及啓発」に加え、「ストップ・ザ・ロコモティブシンドローム」及び「健康寿命を伸ばす」ための活動を実施し、社会貢献を果たして参ります。

Ⅱ 個別事業

1. 研究助成事業（公1）

（1）研究助成金支給事業

股関節に関する学術研究、診断と治療技術の開発及び健康寿命を延伸するための研究に関する優秀な研究に対して、公募により助成を行います。

- ① 助成金額 総額 500 万円以内、1 件 100 万円以内
- ② 選考方法 理事会で選出された学術経験者による助成選考委員会にて決定します。

（2）研究成果報告書作成事業

研究助成金を受けた研究の成果報告書を作成し、厚生労働省、各大学医学部及び関係機関に配布します。

本年は、平成 22 年度に当財団が交付した研究助成金により、平成 22 年から平成 23 年に実施された 4 件の研究の成果を取りまとめる予定です。

（3）股関節研究セミナー開催事業

医療関係者等に対して股関節疾患に関する治療方法等の研究セミナーを開催します。

本年は、下記の 5 件の研究発表を 12 月に開催する予定です。

- ① 「軟骨細胞様細胞において IL-4 は力学的負荷誘導性の RUNX2 および MMP-13, ADAMTS-5 の発現を抑制するか」
岡山大学大学院 鉄永智紀
- ② 「人工股関節全置換術後静脈血栓塞栓症の複数の血液凝固マーカーによる早期診断と抗 Xa 活性モニタリングを用いた新しい薬物的予防法の確立に向けた研究」
横浜市立大学 稲葉 裕
- ③ 「人工股関節の軟部組織緊張の定量的評価」
大阪大学大学院 高尾正樹
- ④ 「変形性股関節症患者に対する 3.0 テスラ MRI を用いた遅延相造影 MRI による関節軟骨評価の研究」
広島大学大学院 山崎琢磨
- ⑤ 「股関節唇の関節軟骨保護機能に関する生体力学的研究」
旭川医科大学 伊藤 浩

2. 普及啓発事業（公2）

（1）股関節市民フォーラム開催事業

股関節市民フォーラムを一般市民の方々を対象に、股関節の病態、予防等についての正しい知識をわかりやすく、楽しい講演を中心に開催します。本年度は10月に開催する予定です。

（2）普及啓発事業

広く一般向けに股関節に関する情報提供を行い、普及啓発を図ります。本年度は、人工股関節への理解・治療・予防のための誰にでもわかる「人工股関節がよくわかる本」の普及と啓発に努め、広く一般国民の方々に人工股関節についての周知を図ります。

（3）インターネット情報提供事業

ウェブサイトの内容を充実し、より見やすく、利用しやすいように情報公開します。また、これまで郵送にて行っていたイベントのご案内や広報をインターネットによるメールにて行い、コストの削減を図ります。

3. 運動器健康寿命延伸事業（公3）

（1）運動器健康寿命延伸体操の研究開発及び普及促進事業

健康寿命延伸のための股関節を中心とする「運動器健康寿命延伸体操」（ロコモ体操）の研究開発及び外部機関が開催する講演会等へ出演し、普及を促進します。

（2）体操指導者研修事業

運動や体操を指導する専門家が不足しているため、運動器や体操の特に股関節の重要性と正しい知識を広く国民に周知・普及させるため専門家養成研修を実施します。本年度は、5月と12月に開催する予定です。

4. 管理事業

（1）理事会

会議名	日 程	開催場所
第2回	平成24年5月	京都市（予定）
第3回	平成25年2月	東京都（予定）

(2) 評議員会

会議名	日 程	開催場所
第2回	平成24年5月	京都市（予定）

(3) 監事監査

日 程	開催場所
平成25年4月26日（木）	東京都（財団会議室）

(4) 賛助会員の加入促進

新たに、「個人賛助会員（仮称）」を設置し、加入促進を図ります。